

かわさき市政カレンダー

2021年1月～12月

1月

川崎フロンターレ、悲願の天皇杯初優勝

天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権において、川崎フロンターレがガンバ大阪を1-0で破り、悲願の初優勝を飾った。

2月

川崎フロンターレ

FUJI XEROX SUPER CUP 2021優勝

Jリーグのシーズン開始を彩る「FUJI XEROX SUPER CUP 2021」で、川崎フロンターレがガンバ大阪を3-2で破り、2年ぶり2度目の優勝を飾った。

のらぼう菜から生まれた新品種の愛称 「かわさきつや菜」に決定

のらぼう菜から生まれた新品種「川崎市農技1号」の愛称を募集したところ、全国各地の方々から応募があり、「かわさきつや菜」に決定した。

3月

かわさき子ども元気プロジェクト よみうりランド思い出ツアー実施

令和2年度の日光修学旅行が中止となった小学校6年生を対象に、それに代わる思い出づくりのイベントとして、3月9日から11日の3日間、よみうりランドを貸し切り、「かわさき子ども元気プロジェクト」を実施した。

川崎ブレイブサンダース 天皇杯優勝

第96回天皇杯 全日本バスケットボール選手権大会において、川崎ブレイブサンダースが、昨年決勝で敗れた宇都宮ブレックスを76-60で破り、7年ぶり4回目の天皇杯優勝に輝いた。

4月

かわさきGIGAスクール構想が本格始動

令和2年度中に市立小中学校・特別支援学校（小中学校部）の全児童生徒に1人1台端末を配備し、令和3年度からかわさきGIGAスクール構想が本格始動した。

川崎じもと応援券(第2弾)販売決定

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が大幅に減少している飲食店や生活関連サービス等における消費を促すため、令和2年度に引き続き、「川崎じもと応援券」(第2弾)を発行することを発表した。4月22日から5月24日まで申込を受け付けたところ、市内在住者の有効購入申込冊数が販売予定数の50万冊を超過したため、市内在住者のみを対象として抽選を行った。

5月

ごみ排出量3年連続で政令指定都市最小

資源物の分別収集の推進や、市民・事業者の長年にわたる日々のごみ減量の取り組みにより、令和元年度の1人1日当たりのごみ排出量が804gで、政令指定都市の中で最も少ない結果となった。平成29年度の834g、同30年度の816gに続き、3年連続の1位となった。

「かわさきSDGsパートナー」

第1回登録・認証事業者を決定

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて取り組む企業・団体を川崎市が登録・認証する制度「かわさきSDGsパートナー」について、令和3（2021）年3月に第1回の募集を行った結果、74の登録事業者、89の認証事業者を決定し、5月18日に認証書交付式を開催した。

等々力緑地再編計画

陸上競技場を球技専用化へ

川崎フロンターレの本拠地となっている等々力陸上競技場を球技専用スタジアムに改修する計画を発表した。陸上競技場は陸上トラックを廃止し、球技専用に改修。バックスタンドの改築により、客席数を現在の約2万7000人から約3万5000人に増やす計画。陸上競技については既存の補助競技場を改修する予定。

6月

東京大学・日本IBMと

量子コンピューティング技術に関する協定締結

国立大学法人東京大学、日本アイ・ビー・エム株式会社及び川崎市は、量子コンピューティング技術の普及と発展を図るため、相互の協力に関する協定を締結した。

新消防艇「うみかぜ」運用開始

就役から28年間災害活動に従事してきた第6川崎丸の更新艇として、小型消防艇「うみかぜ」が完成し、6月1日から大型消防艇「かわさき」と大小2艇体制での運用を開始し、臨海部の災害対応能力が強化された。

7月

東京2020オリンピック・パラリンピック 英国代表チームの事前キャンプ開始

英国と横浜市・川崎市・慶應義塾大学の三者が平成28(2016)年より数年にわたる調整準備を重ねた結果、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた英国代表チームの事前キャンプが開始した。

市と羽田空港をつなぐ橋の名称 「多摩川スカイブリッジ」に決定

川崎市と東京都が共同で整備を進めている、川崎市殿町(キングスカイフロント)と羽田空港(羽田グローバルウイングズ)をつなぐ新しい橋の名称が「多摩川スカイブリッジ」に決定した。

この橋は、世界との玄関口である羽田空港へつながる橋であり、国際競争力の強化に向け、羽田空港周辺地域及び京浜臨海部の連携を強化し、多摩川両岸の成長戦略拠点の形成を支えるインフラとなる。

川崎市水道事業100周年

かわさきの水道は、大正10(1921)年7月1日に給水を開始し、数次の拡張事業や施設再構築事業などを経て、令和3(2021)年で100周年を迎えた。

8月

かわさき宙と緑の科学館 開館50周年

川崎市多摩区の生田緑地内に立地する「かわさき宙と緑の科学館(川崎市青少年科学館)」は、昭和46(1971)年に開館し、平成24(2012)年のリニューアルオープンを経て、令和3(2021)年8月に開館50周年を迎えた。

かわさきハロウィン24年の歴史に幕

川崎駅周辺で毎年10月に行われてきた「カワサキハロウィン」の終了を同プロジェクト事務局のチッタ エンタテイメントが8月27日に発表した。平成9(1997)年に始まり、日本最大級のイベントに成長した「カワハロ」は惜しまれながら24年の歴史に幕を下ろした。

9月

藤子・F・不二雄ミュージアム開館10周年

藤子・F・不二雄ミュージアムは、令和3(2021)年9月に10周年を迎えた。

10月

「こすぎコアパーク」がリニューアルオープン

川崎市と東急株式会社が連携・協力しながら整備工事を進めてきた、東急東横線・目黒線武蔵小杉駅前にある都市公園「こすぎコアパーク」が10月26日にリニューアルオープンした。

富士通レッドウェーブの3選手に 川崎市スポーツ特別賞を贈呈

東京2020オリンピック競技大会にて日本バスケットボール史上初の銀メダルを獲得した5人制女子日本代表に「富士通レッドウェーブ」から選出された町田瑠唯選手、宮澤夕貴選手、オコエ桃仁花選手に川崎市スポーツ特別賞を贈呈した。

川崎市長選 福田紀彦市長が3選

10月31日、任期満了に伴う川崎市長選挙の投開票が行われ、現職の福田紀彦市長が他の候補者2人を破り、3選を果たした。得票数は前回比約6万票増の46万票超で、歴代最多となった。前回同様、衆議院議員総選挙と同日選挙となり、市長選の投票率は57.7%だった。

11月

川崎フロンターレ J1連覇 史上最速タイでリーグ優勝

川崎フロンターレが明治安田生命J1リーグ戦において、昨季と並び史上最速タイで4試合を残して2年連続4回目となる優勝を決めた。

12月

EXILEのMATSUさんが市民文化大使に就任

令和3(2021)年12月から新たにEXILEの松本利夫さんが川崎市市民文化大使に就任された。松本さんは川崎市出身で、地元を応援する動画プロジェクト「川崎利夫」を配信するなどしている。